

うちなだ 議会だより



新成人 輝く未来へ！



Vol. 124

平成28年〔2016〕
2月5日 発行

石川県内灘町議会

さらになる

スポーツ推進の町に！



内灘町議会

— 目次 —

4 通年議会本格導入へ！ 議長 生田 勇人

5 防災避難所新設 12月会議

6 教育長に久下氏を再任

8 請願の審査

8 賛否の分かれた議案一覧

9 一般質問 7人が登壇

17 委員会レポート

18 視察レポート

19 ありやくどうなつたがいね

20 突撃インタビュー 社会人への第一歩

表紙のいじり

「新成人輝く未来へ！」

1月10日（日）内灘町文化会館にて成人式が行なわれ、317人が新成人となりました。

通年議会本格導入へ！



議長 生田 勇人

町民の皆様には、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃から議会に対しまして温かいご理解と格別なるご協力を賜わり、厚く御礼を申し上げます。

昨年は、内灘町においても「地方創生」に向けた本格的な取り組みが始まっており、このような中、当議会では本年一月から通年議会を本格導入し、必要に応じて会議が、議会の判断で開会できるようになりました。また、四月からは政務活動費（月額二万円）を廃止し、町民への透明性を高めるなど、より信頼され、身近で開かれた議会となるよう鋭意取り組んでまいります。

どうか本年もなお一層のご協力を賜わりますようお願い申し上げます。ごあいさついたします。

平成27年議会定例会 12月会議開会

8日～17日

防災避難所新設

大根布地区の
地域連携拠点へ

地域防災センター整備事業 **3000万円**
(調査設計委託料および解体工事費)



既存の大根布公民館を新たに地域防災センターとしても活用する

樹木等管理委託料
86万円



松食い虫対策

電気自動車 **25万円**



3年間無償貸与にかかる諸経費

■その他の増額になった主な事業

・私立保育園運営費負担金	4589万円
・環境保全型農業支援対策補助金	16万円
・農地中間管理機構集積協力交付金	229万円
・大会出場補助金	60万円
・中学校教育振興費	225万円
・町表彰式費（新規）	52万円

平成27年第2回議会定例会12月会議が開催され、補正予算5件のほか、条例の制定3件、条例の改正4件、規約の変更1件、公共施設管理者の指定3件、名誉町民の承認1件、人事案件2件の計19件を審議し、すべて原案どおり可決しました。
平成27年度一般会計では3307万円を減額し、総額94億8600万円となりました。

再任 全会一致

第2回 定例会
12月会議

教育環境の更なる充実を！

補正予算

一般会計

社会資本整備総合交付金内示額確定等により3307万円を減額し、総額94億8600万円となりました。
(全員賛成)

公共下水道事業特別会計

交付金の確定等により7716万円を減額し、総額14億284万円となりました。
(全員賛成)

国民健康保険特別会計

交付金の確定等により1930万円を追加し、総額35億2970万円となりました。
(全員賛成)

後期高齢者医療特別会計

納付金の確定等により260万円を追加し、総額2億3160万円となりました。
(全員賛成)

介護保険特別会計

交付金の確定等により710万円を追加し、総額17億8150万円となりました。
(全員賛成)

条例の制定

内灘町総合計画条例

内灘町総合計画における基本構想を議決事項として条例で定める。
(全員賛成)

内灘町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づき個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例

番号法で規定する範囲を超えて個人番号を利用した情報連携を行なう事務・情報についてその利用範囲等を条例で定める。
(賛成10…反対2)

内灘町霊園条例

合葬式墓地の設置に伴い、管理運用規定を条例で定める。
(全員賛成)



河北郡市合同出初め式（平成28年1月4日）

教育長に久下氏を



育て！たくましく



心ゆたかに

条例の改正

- ・内灘町税条例等の一部を改正する条例
徴収・換価猶予制度を規定するなどの改正。
(全員賛成)
- ・内灘町歴史民俗資料館条例の一部を改正する条例
休館日を毎週火曜日とする改正。
(全員賛成)
- ・内灘町国民健康保険税条例の一部を改正する条例
「配当所得」を「利子所得、配当所得及び雑所得」に改める部分の施行期日を平成28年1月1日に改める改正。
(全員賛成)
- ・内灘町介護保険条例の一部を改正する条例
介護予防・日常生活支援総合事業等の実施期日に経過措置を設ける等の改正。
(全員賛成)

規約

- ・河北郡市広域事務組合規約の変更
霊柩車運行業務の廃止及び河北郡市会館跡地の売却に伴う変更。
(全員賛成)

指定管理

- ・公共施設管理者の指定
道の駅内灘サンセットパーク
管理者（新規）
株式会社五郎島農園
(平成28年度～平成30年度)
(全員賛成)
- ・内灘町サッカー競技場
管理者（継続）
一般財団法人
内灘町公共施設管理公社
(平成28年度)
(全員賛成)
- ・内灘町福祉センター（憩）
管理者（継続）
一般財団法人
内灘町公共施設管理公社
(平成28年度)
(全員賛成)

名誉町民

- ・内灘町名誉町民の称号の贈呈



元内灘町長（天根布）
岩本 秀雄氏
(全員賛成)

人事案件

教育長



久下 恭功氏
(再任 向陽台)
(全員賛成)

人権擁護委員



林腰 紀男氏
(再任 鶴ヶ丘)
(全員賛成)



請願の審査

不採択

「所得税法56条廃止の意見書採択を求める」請願書

(賛成2人 反対10人)

◎請願者

石川県商工団体連合会
婦人部協議会 長谷川典子

◎紹介議員

北川 悦子

要旨

中小企業の税制では家族従業員の働き分(自家労賃)は所得税法第56条により、必要経費と認めていない。家族の人権を認めない56条は廃止すべき。

不採択

TPP交渉に関する請願

(賛成2人 反対10人)

◎請願者

農民運動石川県連合会
会長 宮岸 美則

◎紹介議員

北川 悦子

要旨

国会決議は重要5品目の関税撤廃だけでなく削減も行わない「除外」である。これが満たされない場合は、交渉からの撤退を明記している。政府は衆参農林水産委員会の決議も無視して合意した。合意を撤廃せよ。

「請願」とは

国民に認められた憲法上の権利の一つで、国または地方公共団体に対して、意見や希望を述べることができる。請願書の提出には、議員の紹介が必要で、受理されると定例会議で審議され、本会議の採択をもって意見書となる。採択された意見書は、さらに委員会審議と本会議での採択をもって最終的に国会、各省庁へ意見書として提出される。



審議結果

12月会議で
賛否の分かれた議案一覧

議案	氏名	米田 一香	磯員 幸博	七田 満男	太田 臣宣	川口 正己	藤井 良信	恩道 正博	北川 悦子	夷藤 満	清水 文雄	中川 達	南 守雄
内灘町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例		○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○
「所得税法 56 条廃止の意見書採択を求める」請願書		×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×
TPP交渉に関する請願		×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×

○は賛成 ×は反対

一般質問 (12月10日)

町政も問う

7人が登壇

清水 文雄 議員 10

- 町の財政状況と行財政改革について
- 公園に高齢者向け健康遊具を設置する考えはないか

磯貝 幸博 議員 11

- ふるさと応援寄附金の魅力を高めよ
- 大野川沿いの堤防強化で地域の安全を確保せよ
ほか1問

夷藤 満 議員 12

- 中学生の自転車通学を導入する考えはないか
- 内灘高校をもっと応援すべきではないか
ほか2問

米田 一香 議員 13

- 続 結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援
- まちづくりの認識を問う

北川 悦子 議員 14

- 高齢者施設のかかえる問題点
- 保育所の現状を問う
ほか2問

七田 満男 議員 15

- 内灘町まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)
人口ビジョン(案)について
- 町内の空き家、空き店舗をチャレンジショップ事業
で繁栄、活性化せよ
ほか3問

藤井 良信 議員 16

- 「認知症簡易チェックシステム」開設の考えはあるか
- 「地域防災力」の強化・拡充について
ほか4問

質問と答弁の詳細は町ホームページ→議会→議会録画中継でご覧ください。

題字 上野雅子さん(西荒屋)



高齢者健康遊具の設置を

総合戦略に沿って検討する 都市整備部長



清水 文雄

問 内灘町人口ビジョンでは、2060年の高齢化率が推計43%となっている。介護予防の一環として高齢者がいつでも気軽に足を運び、みずから運動を継続的に取り組めるような施設整備、または運動教室を展開することは健康運動習慣化の推進につながる。今後、公園に高齢者用健康遊具を設置せよ。

答 公園内に健康づくりの一環となる健康遊具を設置することは、総合戦略に沿った効果を発揮するものと考えている。遊具利用者の安全の確保を第一に、国の交付金事業を活用してウォーキングコースの中継地となる公園、または高齢者の利用が多い公園などに健康遊具が設置できないか調査、検討する。



高齢者健康遊具が設置された広場（富山県滑川市）

行財政改革

問 経常収支比率の改善に向け行財政改革の必要性が求められる中、特別職など報酬引き上げの答申があった。内容を聞く。

答 特別職報酬等審議会 ※の答申内容では月額増額は町長2万7000円、副町長8000円、教育長3000円、議員6万5000円、議長7万7000円、副議長6万2000円、議会運営

委員長並びに常任委員長6万6000円である。

問 答申では実施が28年の4月1日だ。行財政改革を推進する立場にある町長の所見を聞く。

答 答申は近隣市町での報酬の状況や、近年の社会経済情勢などを参考に慎重に審議されたものだ。今後、答申内容を尊重し、慎重に判断したい。



何事もバランスが大事

※特別職報酬等審議会 町長の諮問に応じ、議会議員の議員報酬及び期末手当の額並びに町長・副町長・教育長の給与の額に関する事項を調査及び審議する。委員5人をもって組織し、学識経験者のうちから必要のつど町長が任命する。



磯貝 幸博

ふるさと納税の魅力高めよ

特産品の開発も進める 副町長



返礼品の充実が待たれる

問 この町が大好きでも就職や結婚などを機に、転居される方も多い。「ふるさと応援寄附金は、応援したい事業を選んで納税できるため、ふるさとへの愛情に応えられる制度だ。返礼品を充実させ魅力アップを急げ。」

答 返礼品への関心は高い。充実を図り、新たな特産品の開発も進める。

問 応援したい気持ちに応えるため、仲介サイトなどインターネットを利用し、手続きを完了できないシステムを導入せよ。

答 インターネット上で寄附の手続きが即時に完了するしくみはとても便利だ。

仲介サイトの活用やクレジットカード決済の導入に向けて前向きに調査、検討する。

問 平成20年7月に金沢南部に局地的な大雨が発生した。増水した大野川は越水の危機にさらされた。
堤防の沈下は年々進み、**表のり面**※が常に水に浸かった状態となっているため、越水や浸水被害のリスクが高まっている。堤防のかさ上げ、のり面の防水、越水による決壊の防止の対策を行ない地域の安全を確保せよ。

大野川堤防

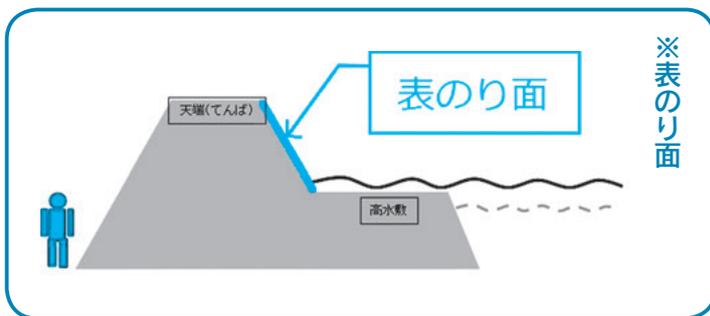


頑丈な堤防あつての安全・安心

答 大野川右岸堤防は平成19年までに、県により改修工事が行なわれた。ご指摘の豪雨によってその堤防の一部が破損したが、応急処置で改修済みである。
しかし近年、堤防の沈下や損傷が懸念される状態のため、県に対し改修工事を要望している。堤防の監視強化に努め、安全対策工事の早急な実施を強く求めていく。

問 旧鶴ヶ丘東保育所を世代間交流の場にご利用せよ。
答 町会要望も考慮し検討していく。

その他の質問



中学生の自転車通学を認めよ

関係機関と協議する 教育長



夷藤 満

問 スクールバスの運行上、登下校時間に制約があり、部活などへの影響も考えられる。他市町では自転車通学を認める学校もある。高校生になれば、近隣自治体への自転車通学が多くなる。

答 学校やPTAから自転車通学を検討してはとの声はある。多くの高校生が自転車通学をしている現状から、交通ルールやマナーを中学生時代に学ばせることも大切だと考える。実施には、交通安全対策やルールづくり、駐輪場の設置など課題もあり、全般的に徒歩通学等も含めて学校、保護者、関係機関と協議する。



小学校での交通安全教室

内灘高校

問 昭和61年に県立内灘高校が誕生し、平成28年で創立30周年を迎えようとしている。町が標榜する心豊かな学園文化都市を将来にわたり受け継ぐため、高校生の若いエネルギーとパワーを発揮してもらい、町内での活動に生かしていければ町にとっても大きな財産になる。内灘高校をもっと応援せよ。

答 町内唯一の高校で、幼稚園から大学まである町の教育環境の一翼を担っている。町の行事やボランティア活動へも積極的に参加いただき、地域住民と交流を深めている。現在、部活動強化の補助金や顕著な活動をした生徒への表彰をしている。創立30周年の節目に向け、町が継続的に支援する組織を立ち上げ、応援していきたい。



地域の文化祭に参加する内灘高校の生徒

その他の質問

問 定住促進に向けた福祉施策の取り組みは。

答 ゼロ歳児保育などの受け入れ強化を図る。

問 各公民館に常設リサイクルステーションを。

答 今後の収集方法は町会と協議を進めたい。



米田 一香

学童保育を学校敷地内へ

新年度予算に計上する 町長



キッズーナで紙芝居

問 産前産後安心ヘルパー派遣事業※の対象者は体調不良や心身の病気の妊産婦と限定されている。そうなる前の支援が必要だ。利用対象者の幅を広げよ。

答 今後は他の自治体の動向をふまえ検討する。

問 安心し子どもを預け、家事や一時の息抜きができる施設整備を進めよ。

答 空き教室を利用した移転を段階的に計画しており、来年度は向粟崎学童保育クラブの移転に向け協議している。

問 近年、安全面から学校敷地内での学童保育設置が推奨されている。町でも移転を検討せよ。

答 出産後のストレスや育児不安の早期解消に有効であり、調査研究する。

まちづくり

問 水が浸み出している大野川の堤防改修工事の必要性の認識は。堤防の草刈など管理が不十分では安全管理上も景観保全上もよくない。改修工事と維持管理を県に強く要望せよ。

答 早急に改修すべきと認識しており、管理業務は堤防の状態を確認する上で重要。引き続き県に要望する。



美しい景観を楽しめるように

問 内灘海岸のにぎわい創出計画でのアクセス道路設置や、河川護岸改修工事の際に、町が誇る夕日や河川、夜景など美しい景観を楽しみながら、健康づくりにも寄与できる遊歩道を同時に整備せよ。

答 アクセス道路整備の際は歩道を検討する。河川護岸施設は歩道兼用で整備可能か県と協議する。

※産前産後安心ヘルパー派遣事業
体調不良などにより育児または家事が困難な場合にヘルパーの派遣を行ない、妊婦または産婦のいる家庭を支援する。

介護士養成の支援が必要

県の動向をふまえ検討 町民福祉部 担当部長



北川 悦子

問 夕陽ヶ丘苑の待機者数と待機者の介護認定区分を問う。

答 本年10月末現在、町の介護保険の被保険者は53名。約8割は現在既別の施設等に入所、約2割が在宅待機の状況。介護認定区分は要介護1が3人、要介護2が5人、要介護3が20人、要介護4が21人、要介護5が4人となっている。

問 毎月、町の広報に夕陽ヶ丘苑の介護職員の募集が掲載されている。介護職員の人員確保が難しい原因はどこにあるのか。介護士養成の支援が必要ではないか。

答 主な要因として、給与水準、勤務形態、仕事の負担感、結婚や出産で離職となっている。県の動向をみて町も検討する。



いつも笑顔で（夕陽ヶ丘苑）

保 育 所

問 来年度の入所申し込み状況を問う。5月以後の保育士募集の対策が必要でないか。

答 町立向粟崎保育所定員160人で137人、北部保育所定員50人に対し26人。町立、私立を合わせ定員975人のところ949人となっている。ハローワーク、町広報などでの募集や、県と連携を図り確保に努める。

問 保育所の民営化計画も終わった現在、私立保育園と比べ町立保育所の遊具や環境を見直し、トイレの増設やリースのカーテン取り付けなど、居心地のよいものにせよ。

答 現場を確認し、保育士とも打ち合わせをしながら、どういう点が不具合なのか調査をし、平成28年度の予算に必要であれば計上していく。



みんながスター☆（向粟崎保育所）

その他の質問

問 防災行政無線が聞こえない地域がある。

答 ささまざまな方法を活用し情報伝達に努める。

問 白帆台中央バス停に風よけを。

答 現地の状況を確認し検討する。



七田 満男

まち・ひと・しごと創生総合戦略を問う

子育て環境の充実を図る 都市整備部 担当部長



白帆台に転入された浜岸さん

問 町の人口ビジョンでは2060年の目標人口は2万5000人だが人口予測の根拠を示せ。

答 国のビジョンと同様、合計特殊出生率を上昇させ、子育て世帯を毎年10世帯ずつ転入増加を図る。

問 総合戦略の5カ年をどのように進めるのか、また進捗状況の把握と目標の管理方法を示せ。

答 総合戦略を進めていく上でも、国の交付金等を活用しながら計画的、戦略的に事業を進める。

答 子育て環境の充実を図り出生率の向上、定住促進に取り組む。毎年目標数値の達成状況を検証し必要に応じて戦略の見直しを行なう。

問 目標を実現するための予算確保の展望は。

創業支援事業

問 町では内灘町創業支援を実施しているが、その内容と申請件数は。

答 空き家、空き店舗となっている建物を利用して起業、創業する方に補助金を交付する。地域商業の活性化や空き家建物の解消を図るもので、改装工事、備品購入等の一部を助成する。現在のところ、申請はない。



金沢市での活用事例 (HIKARI)

問 創業支援事業が進まない中、今後どうするか。チャレンジショップ※、チャレンジヤー育成事業※の可能性は。

答 創業支援制度は、より使いやすい制度へと見直し、商工会等と連携を強化し周知啓発に努める。チャレンジショップ事業、チャレンジヤー育成事業は調査研究し、具体的な支援策を検討する。

その他の質問

問 中小、小規模事業者に景気対策を実施せよ。明るく元気な町を目指し対策を講じたい。

答 生活、安全対策に防犯カメラを増設せよ。増設を検討する。

※チャレンジショップ事業

空き家、空き店舗、またはその一部を開業希望者に期間限定で格安に賃貸する創業支援事業。

※チャレンジヤー育成事業
チャレンジショップ出店前に公共施設の一部を期間限定で格安の値段で使用し商いのノウハウを学び体験を積むことができる事業。

「チェックシステム」を導入せよ

認知症早期対応に有効 町長



藤井 良信

問 秋田県男鹿市では、今年の4月から認知症の早期発見につながる「認知症簡易チェックシステム」を開設した。パソコンや携帯電話、スマートフォンからの利用が可能であり、いくつかの設問に答えると認知機能レベルが3段階で判定される。

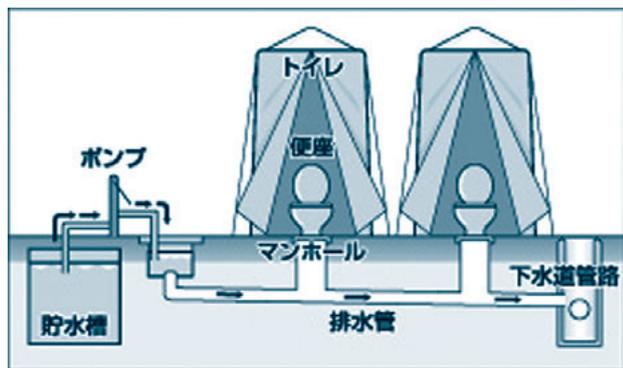
答 現在、地域包括支援センターが中心となる認知症相談会、いきいきサロンやシニアクラブが開催する健康講座など認知症予防の啓発に取り組んでいる。

チェックシステムの開設では、認知症の早期対応など一定の効果が期待できると考えている。

今後、先進自治体での効果を検証し、開設に向けて前向きに検討する。



町民福祉フォーラムが開催された



マンホールトイレのイメージ

災害対策

問 国土交通省は、災害時にマンホールの上に設置する「マンホールトイレ普及のためのシンポジウム」を開催し、災害時に避難所のトイレ環境が劣悪とならないよう指針を策定した。

仮設トイレに比べて迅速な組み立てが可能で、汲み取りの必要がない。災害時の環境衛生を確保すべく、町での導入を求める。

答 大規模災害時に既存のトイレが不足する事態になるなど、その重要性が認識される。

今後、策定された指針をもとに規模及び設置費用などの課題を整理し、避難所でのマンホールトイレ設置に向けて取り組んでいく。

町全体にかかる下水道地震対策の計画として、どこに設置するかとの検討から始めていきたい。

その他の質問

問 マイナンバー制度相談窓口体制を強化せよ。

答 機能拡充は、今後の研究課題とする。

問 シルバー人材センター労働時間の緩和・拡充を。

答 就業機会や介護、保育の職域拡大は必要。

問 「ユネスコスクール」今後の学習課題は。

答 福祉・人権問題への取り組みを協議する。

問 図書館に書籍消毒機の導入を求める。

答 住民ニーズを把握しながら調査研究する。

総務産業建設常任委員会

問 地域防災センター整備事業は、もう少し早い時期から財源を含めた説明が必要だ。

答 「緊急防災・減災事業債」の活用ができないか県との協議に時間を要し、ようやく事業化の目途が立った。今後もできるだけ早く議会に報告したい。

問 内灘町霊園合葬墓の使用者募集が始まる。町広報やホームページでの周知だけでなく、回覧板も活用し高齢者などに幅広く周知せよ。

答 回覧板など工夫を凝らして、広くPRしていく。

問 道の駅指定管理者変更の際には、これまでの仕入れ先等に配慮するよう申し送りせよ。

答 新たな運営業者が商品仕入れの選定をすることとなる。これまでの仕入れ先の情報については申し伝える。

その他

建設中の合葬式墓と屋内多目的広場、室ほ場整備事業及び今年度整備が完了した消雪施設（西荒屋、大学2丁目、鶴ヶ丘4・5丁目、鶴ヶ丘1・2丁目、千鳥台）の町内8か所の視察を行いました。



屋内多目的広場のくい打ち状況

文教福祉常任委員会

問 60歳以上の方が対象となるうちなだ健康ポイント事業※ではサンセットカードにポイント券(30ポイント)が配布される。有効期限が平成28年2月末までであるが3月末まで延長の考えは。

答 ポイントの有効期限は商工会との協議で決められている。

問 この事業の継続の考えはあるか。また町民への周知は十分行なったか。

答 今回の効果を検証し、事業の継続は検討する。周知では町広報に掲載し、シニアクラブなどにも連絡済みである。

※うちなだ健康ポイント事業

町民の健康意識向上のため町が開催する各行事や、地域で行なわれる町が認めた教室やサロンに参加すると、サンセットカードにポイントが加算される。

問 内灘福祉センター(憩)の指定管理者の指定について、現在どのような考えか。

答 現在、一般財団法人内灘町公共施設管理公社に一年間の指定をしているが、その期限が平成28年3月末までとなっている。現行指定管理団体の経営基盤等の影響を考慮し、継続して町公共施設管理公社を特命指定とする。また、ほのぼの湯の建て替えを考慮して、指定期間を一年間としたい。



筋力アップ教室

総務産業建設常任委員会

鹿児島県 日程 11月16日～18日

海岸のにぎわい創出を目指して

- ・江口浜海浜公園（日置市）
- ・道の駅たるみず（垂水市）
- ・定住促進対策（垂水市）
- ・吹上浜海浜公園（南さつま市）



目玉は屋外 60m の足湯

年間80万人が訪れる「道の駅たるみず」は大隅半島の玄関口で、鹿児島市を經由し薩摩半島へ至る幹線道路に位置し、天然温泉を活用した温浴施設、地域の農林水産物の加工・販売施設、レストランがあります。目玉の屋外60mの「足湯」からは錦江湾と桜島の景観が楽しめ、地域住民や旅行者、ドライバーの癒しの空間としてにぎわっていました。

当町も金沢市から能登半島への玄関口。欲張らず、「ちよつと寄りたくなる海岸」づくりから一歩ずつ始めたいものですね。

（米田）

温浴施設整備に向けて

- ・健康交流センター花いろ（豊後高田市）

特色ある小学校建設

- ・咸宜小学校（日田市）



環境にやさしい木質系の校舎

「花いろ温泉」では平成26年に露天風呂をリニューアルし、サウナ、家族風呂なども増設されました。施設内には地元野菜や果物の販売コーナーがあり、安価で売られ来場者に親しまれています。

咸宜かんぎ小学校は、江戸時代に性別や身分を問わず、塾生を受け入れた廣瀬ひろせ淡窓たんそうの私塾「咸宜園」の伝統があります。大根布小学校とほぼ同規模で、林業が盛んな日田市では基本的に木造とし、校舎は冷房完備で必ず太陽光発電を併設し、電気をまかなう方針となっています。（七田）

文教福祉常任委員会

大分県 日程 11月16日～18日

議会広報の編集力アップのために

- ・大山町（平成26年優秀賞）
- ・北栄町（平成24年奨励賞）



北栄町の広報に学ぶ

大山町では、広報委員が団体などへの取材や住民アンケートを積極的に行ない、「住民が知りたい情報」を心がけ読者を魅了しています。また大山ファンクラブという、地域外の希望者に広報誌を送るしくみに驚かされました。

北栄町では、住民登場の写真を多用し、新しい読者を引き込むよう配慮されています。

どちらも住民目線で親しみやすく読みやすくを第一に、思わず手に取りたくなるよう工夫を重ねていました。

（磯貝）

広報対策特別委員会

鳥取県 日程 10月5日～7日

追跡

あーりゃ～
どうなったがいね～

子どもの権利条例 推進計画を問う

条例制定後の動きが見えてこない。計画策定に向けて組織づくりも含め、関係機関と連携し進めよ。

平成 25 年 12 月 議会 清水 文雄 議員

答 弁

計画策定に取り組んでいる

関係機関、教職員、保護者、子ども等の意見をとり入れるべく会議の開催に努めていきたい。

その後

平成 27 年度 子ども議会の開催

「内灘町子どもの権利条例推進計画」を平成 26 年 12 月に策定。平成 27 年 8 月に「内灘町子ども議会」を開催。



猿払村と友好都市の 締結をせよ

猿払村でホタテ漁をしていた内灘町の先人の思いが現在の猿払村の基礎となっている。新たに友好都市を結ぶ考えは。

平成 27 年 6 月 議会 夷藤 満 議員

答 弁

締結に向け協議を進める

両町村間の交流はますます盛んになってきている。友好都市協定締結に向け協議を進めていく。

その後

平成 27 年 10 月 友好都市締結

産業・スポーツ・教育・文化をはじめ幅広い分野にわたる交流を行ない、猿払村との繁栄と発展を促進することを確認。



大きく踏み出せ 社会人への第一歩



1月10日の成人式で、新成人の皆さんに、率直な気持ちを伺いました。

夢や抱負は？



まつしま りょうた 松島 遼 太さん(千鳥台)

パイロットの夢に向かって進みます。旅客関連の仕事に就きたいですね。大好きな町なので、もっと発展して欲しいし、ぜひ僕もその一翼を担いたい。成人できたのは両親のおかげ。これからも大切にしていきたいです。本当に感謝しています。

町の好きなところ



えがわ あんな 江川 安乃さん(鶴ヶ丘)

人柄もいいし内灘大好き。進学を機に県外に住むので、視点を変えて内灘町の良さを実感できると思う。

抱負と町や議員に一言



おおえ つばさ 大江 飛翔さん(大根布)

社会の厳しさに正面から

立ち向かっていく。大人の自覚を持ち気を引き締めたい。若い人の意見をもっと取り入れて欲しい。選挙には積極的に参加したい。

内灘への愛情を表現して



ひがし のまな 東 野 真奈さん(大根布)

人が温かくて、住みやすく、お金に満ち溢れた町になって欲しい。いろいろな貢献していききたい。内灘が大好き！子どもたちが整備されたきれいな公園で遊べるともっとうい！

夢と町の好きなところ



まつばら こころ 松原 恋さん(向陽台) 右 久島 ちなみさん(室)

まわりが見えない年代だけど、落ち着いて、夢に向かって真つすぐ進みたい。将来、成長して帰ってくる人たちを、温かく迎えられる町であってほしい。サンセットブリッジや海もあるし、公園もたくさんあるので最高！何より医科大があるので安心。(笑)

新成人の皆さん、ありがとうございます。

寄附の禁止



議会を傍聴しませんか

3月会議の一般質問は8日午前10時からの予定です。詳しくは、町ホームページをご覧ください。議場の受付は当日、庁舎3階のエレベーター横で行なっています。

議会事務局 TEL286-6715

編集後記

今年の干支「申年」は動物でいえば猿。一般的に申年生まれば明瞭で頭の回転が速いとされるが「猿の尻笑い」との格言もある。

ニホンザルの群れを束ねるボスザルも専門家によれば「餌づけされていない野生の群れにボスはいない」(読売)という。梅もほころぶ暖かい正月であったが、わずかな気の緩みが、ちぐはぐな対応を生むことにならないよう、議会だよりの編集でも気を引きしめてスタートしてまいります。

読者の皆様、よろしく申し上げます。
〔藤井 良信〕

- 広報対策特別委員会
- 委員長 藤井 良信
 - 副委員長 磯貝 幸博
 - 委員 米田 一香
 - 委員 七田 満男
 - 委員 北川 悦子

発行：内灘町議会 責任者：議長 生田 勇人
編集：議会広報対策特別委員会

〒920-0292 石川県河北郡内灘町字大字1丁目2-1
☎076-286-6715 FAX076-286-6711



1部あたりの単価は35.12円です。
リサイクルペーパーを使用しています。